

## 1. WEBサイト改変の目的

- ①現状のWEBサイトは2016年社会実験時に作成したWEBサイトであり、リアルタイムに更新ができないことに加え、更新には費用がかかる。
- ②社会実験期間中であり、実施内容やルールが変更が頻繁に発生するため、準備委員会で更新できるシステムを導入する。
- ③運営フェーズとなったので、広場の仲間（広場の利用者や協賛者等）を集める、広場の価値を可視化することが必要となっている。

## 2. 審査のための視点（案）

### (1)前提条件

- ・エリア全体の情報発信ではなく、広場中心とした情報発信を行う
- 周辺には既に街の情報を発信するサイトが多数存在する(商店街サイト等)
- エリアの多面的な情報発信はしない

例：Times SQUAREのようなサイトではない

→食事・エンターテイメント・買い物・宿泊・イベントなどの情報の発信を行わない

<https://www.timessquarenyc.org/>

※保守点検セキュリティ管理は別途同じ会社に依頼する

### (2)サイトを通じて目指す効果

- ①なんば広場の主旨を適切に伝える
- ②通行証・工事の情報を正しく伝える
- ③イベントを実施したいと感じる
- ①～③は準備委員会として情報を整理することが重要
- ④広場を共に作り上げる仲間を募集する
- ⑤広場に訪れたいと感じてもらう

### (3)審査の視点(案)

- ①準備委員会が更新できるシステムが導入されている
- ②広場のコンセプト「リアルメディア」の捉え方
  - －WEBサイト上での発信
  - －広場を起点とした魅力発信
  - －現地との連動性
- ③なんばらしさを感じる
  - －独自コンテンツ
  - －デザイン